

<div>1</div> <div>(1) 原点を出発して数直線上を動く点 P の座標が，時刻 t の関数として，$x=t^3-10t^2+24t \ (t>0)$ で表されるという。点 P が原点に戻ったときの速度 v と加速度 α を求めよ。</div> <div>(2) 座標平面上を運動する点 P の，時刻 t における座標が $x=4\cos t$，$y=\sin 2t$ で表されるとき，$t=\frac{\pi}{3}$ における点 P の速さと加速度の大きさを求めよ。</div>	<div>2</div> <div>(1) 動点 P が，原点 O を中心とする半径 r の円周上を，定点 P_0 から出発して，OP が 1 秒間に角 ω の割合で回転するように等速円運動をしている。P の加速度の大きさを求めよ。</div> <div>(2) $a>0$，$\omega>0$ とする。座標平面上を運動する点 P の，時刻 t における座標が $x=a(\omega t-\sin \omega t), \ y=a(1-\cos \omega t)$ で表されるとき，加速度の大きさは一定であることを示せ。</div>	<div>3</div> <div>楕円 $\frac{x^2}{9}+\frac{y^2}{4}=1 \ (x>0, \ y>0)$ 上の動点 P が一定の速さ 2 で x 座標が増加する向きに移動している。$x=\sqrt{3}$ における速度と加速度を求めよ。</div>
--	---	--

- 4 底面の半径が5 cm，高さが10 cm の直円錐状の容器を逆さまに置く。この容器に $2\text{ cm}^3/\text{s}$ の割合で静かに水を注ぐ。水の深さが4 cm になる瞬間において，次のものを求めよ。
- (1) 水面の上昇する速さ (2) 水面の面積の増加する割合

- 5 表面積が $4\pi\text{ cm}^2/\text{s}$ の一定の割合で増加している球がある。半径が10 cm になる瞬間において，以下のものを求めよ。
- (1) 半径の増加する速度 (2) 体積の増加する速度

- 6 (1) $|x|$ が十分小さいとき，次の関数の1 次の近似式，2 次の近似式を作れ。
- (ア) $f(x) = \log(1+x)$ (イ) $f(x) = \sqrt{1+\sin x}$
- (2) 1 次の近似式を用いて，次の数の近似値を求めよ。ただし， $\pi = 3.14$ ， $\sqrt{3} = 1.73$ として小数第2 位まで求めよ。
- (ア) $\cos 61^\circ$ (イ) $\sqrt[3]{340}$ (ウ) $\sqrt{1+\pi}$

- 7
- (1)

球の体積 V が 1 % 増加するとき，球の半径 r と球の表面積 S は，それぞれ約何 % 増加するか。
- (2)

AD//BC の等脚台形 ABCD において，AB=2 cm，BC=4 cm，∠B=60° とする。∠B が 1° だけ増えたとき，台形 ABCD の面積 S は，ほぼどれだけ増えるか。ただし， $\pi=3.14$ とする。

- 8
- 座標平面上の動点 P の時刻 t における座標 (x, y) が
$$\begin{cases} x=\sin t \\ y=\frac{1}{2}\cos 2t \end{cases}$$
 で表されるとき，点 P の速度の大きさの最大値を求めよ。

- 1
- (1) 原点を出発して数直線上を動く点 P の座標が, 時刻 t の関数として,
 $x=t^3-10t^2+24t$ ($t>0$) で表されるという。点 P が原点に戻ったときの速度 v と加速度 α を求めよ。

(2) 座標平面上を運動する点 P の, 時刻 t における座標が $x=4\cos t$, $y=\sin 2t$ で表
されるとき, $t=\frac{\pi}{3}$ における点 P の速さと加速度の大きさを求めよ。

解答 (1) $t=4$ のとき $v=-8$, $\alpha=4$; $t=6$ のとき $v=12$, $\alpha=16$
(2) 速さ $\sqrt{13}$, 加速度の大きさ 4

解説

(1) $v=\frac{dx}{dt}=3t^2-20t+24$ …… ①, $\alpha=\frac{dv}{dt}=6t-20$ …… ②

$x=0$ とすると $t^3-10t^2+24t=0$
ゆえに $t(t-4)(t-6)=0$ よって $t=0, 4, 6$
 $t>0$ で点 P が原点に戻るのは $t=4, 6$ のときである。
したがって, ①, ② から
 $t=4$ のとき $v=3\cdot 4^2-20\cdot 4+24=-8$, $\alpha=6\cdot 4-20=4$
 $t=6$ のとき $v=3\cdot 6^2-20\cdot 6+24=12$, $\alpha=6\cdot 6-20=16$

(2) 点 P の時刻 t における速度ベクトルを \vec{v} , 加速度ベクトルを $\vec{\alpha}$ とすると
 $\vec{v}=\left(\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt}\right)=(-4\sin t, 2\cos 2t)$
 $\vec{\alpha}=\left(\frac{d^2x}{dt^2}, \frac{d^2y}{dt^2}\right)=(-4\cos t, -4\sin 2t)$
 $t=\frac{\pi}{3}$ を代入すると $\vec{v}=\left(-4\sin \frac{\pi}{3}, 2\cos \frac{2}{3}\pi\right)=(-2\sqrt{3}, -1)$
 $\vec{\alpha}=\left(-4\cos \frac{\pi}{3}, -4\sin \frac{2}{3}\pi\right)=(-2, -2\sqrt{3})$
よって, 速さは $|\vec{v}|=\sqrt{(-2\sqrt{3})^2+(-1)^2}=\sqrt{13}$
加速度の大きさは $|\vec{\alpha}|=\sqrt{(-2)^2+(-2\sqrt{3})^2}=\sqrt{16}=4$

- 2
- (1) 動点 P が, 原点 O を中心とする半径 r の円周上を, 定点 P₀ から出発して, OP が
1 秒間に角 ω の割合で回転するように等速円運動をしている。P の加速度の大きさを
求めよ。

(2) $a>0$, $\omega>0$ とする。座標平面上を運動する点 P の, 時刻 t における座標が
 $x=a(\omega t-\sin \omega t)$, $y=a(1-\cos \omega t)$ で表されるとき, 加速度の大きさは一定である
ことを示せ。

解答 (1) $r\omega^2$ (2) 略

解説

(1) 加速度ベクトル $\vec{\alpha}$ は, $\vec{\alpha}=(-r\omega^2\cos(\omega t+\beta), -r\omega^2\sin(\omega t+\beta))$ であるから
 $|\vec{\alpha}|=\sqrt{(-r\omega^2)^2\cos^2(\omega t+\beta)+(-r\omega^2)^2\sin^2(\omega t+\beta)}=\sqrt{(r\omega^2)^2}$
 $r>0$ であるから $|\vec{\alpha}|=r\omega^2$

(2) 点 P の時刻 t における速度ベクトルを \vec{v} , 加速度ベクトルを $\vec{\alpha}$ とすると
 $\vec{v}=\left(\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt}\right)=(a(\omega-\omega\cos \omega t), a\omega\sin \omega t)$
 $\vec{\alpha}=\left(\frac{d^2x}{dt^2}, \frac{d^2y}{dt^2}\right)=(a\omega^2\sin \omega t, a\omega^2\cos \omega t)$

よって, 加速度の大きさは $|\vec{\alpha}|=\sqrt{(a\omega^2\sin \omega t)^2+(a\omega^2\cos \omega t)^2}=\sqrt{(a\omega^2)^2}$
 $a>0$, $\omega>0$ であるから, 加速度の大きさは $a\omega^2$ で一定である。

- 3
- 楕円 $\frac{x^2}{9}+\frac{y^2}{4}=1$ ($x>0$, $y>0$) 上の動点 P が一定の速さ 2 で x 座標が増加する向きに移
動している。 $x=\sqrt{3}$ における速度と加速度を求めよ。

解答 速度 $\left(\frac{6}{\sqrt{11}}, -\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}}\right)$, 加速度 $\left(-\frac{36\sqrt{3}}{121}, -\frac{54\sqrt{6}}{121}\right)$

解説

$\frac{x^2}{9}+\frac{y^2}{4}=1$ …… ① の両辺を t で微分して $\frac{2x}{9}\cdot\frac{dx}{dt}+\frac{y}{2}\cdot\frac{dy}{dt}=0$ …… ②

P の速さが 2 であるから $\left(\frac{dx}{dt}\right)^2+\left(\frac{dy}{dt}\right)^2=2^2$ …… ③

x 座標が増加する向きに移動しているから $\frac{dx}{dt}>0$

① から $y^2=4\left(1-\frac{x^2}{9}\right)$ $x=\sqrt{3}$ を代入して $y^2=\frac{8}{3}$

$y>0$ であるから $y=\frac{2\sqrt{6}}{3}$

$x=\sqrt{3}$, $y=\frac{2\sqrt{6}}{3}$ を ② に代入して $\frac{2\sqrt{3}}{9}\cdot\frac{dx}{dt}+\frac{\sqrt{6}}{3}\cdot\frac{dy}{dt}=0$

ゆえに $\frac{dy}{dt}=-\frac{\sqrt{2}}{3}\cdot\frac{dx}{dt}$ …… ②'

②' を ③ に代入して, $\left(1+\frac{2}{9}\right)\left(\frac{dx}{dt}\right)^2=4$ から $\left(\frac{dx}{dt}\right)^2=\frac{36}{11}$

$\frac{dx}{dt}>0$ であるから $\frac{dx}{dt}=\frac{6}{\sqrt{11}}$ このとき, ②' から $\frac{dy}{dt}=-\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}}$

よって, $x=\sqrt{3}$ における速度は $\left(\frac{6}{\sqrt{11}}, -\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}}\right)$

次に, ② の両辺を t で微分して $\frac{2}{9}\left\{\left(\frac{dx}{dt}\right)^2+x\frac{d^2x}{dt^2}\right\}+\frac{1}{2}\left\{\left(\frac{dy}{dt}\right)^2+y\frac{d^2y}{dt^2}\right\}=0$

$x=\sqrt{3}$, $y=\frac{2\sqrt{6}}{3}$, $\frac{dx}{dt}=\frac{6}{\sqrt{11}}$, $\frac{dy}{dt}=-\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}}$ を代入して整理すると
 $2\frac{d^2x}{dt^2}+3\sqrt{2}\frac{d^2y}{dt^2}=-\frac{36\sqrt{3}}{11}$ …… ④

また, ③ の両辺を t で微分して $2\frac{dx}{dt}\cdot\frac{d^2x}{dt^2}+2\frac{dy}{dt}\cdot\frac{d^2y}{dt^2}=0$

$\frac{dx}{dt}=\frac{6}{\sqrt{11}}$, $\frac{dy}{dt}=-\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{11}}$ を代入して整理すると
 $3\frac{d^2x}{dt^2}-\sqrt{2}\frac{d^2y}{dt^2}=0$ …… ⑤

④, ⑤ から $\frac{d^2x}{dt^2}=-\frac{36\sqrt{3}}{121}$, $\frac{d^2y}{dt^2}=-\frac{54\sqrt{6}}{121}$

よって, $x=\sqrt{3}$ における加速度は $\left(-\frac{36\sqrt{3}}{121}, -\frac{54\sqrt{6}}{121}\right)$

4

底面の半径が 5 cm, 高さが 10 cm の直円錐状の容器を逆さまに置く。この容器に
2 cm³/s の割合で静かに水を注ぐ。水の深さが 4 cm になる瞬間において, 次のものを求

めよ。
(1) 水面の上昇する速さ (2) 水面の面積の増加する割合

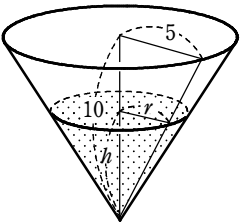
解答 (1) $\frac{1}{2\pi}$ cm/s (2) 1 cm²/s

解説

t 秒後の水の体積を V cm³ とすると $\frac{dV}{dt}=2$ (cm³/s) …… ①

(1) t 秒後の水面の半径を r cm, 水の深さを h cm とすると
条件から $r:h=5:10$ よって $r=\frac{h}{2}$
これを $V=\frac{1}{3}\pi r^2h$ に代入して $V=\frac{1}{3}\pi\left(\frac{h}{2}\right)^2h=\frac{1}{12}\pi h^3$
両辺を t で微分して $\frac{dV}{dt}=\frac{1}{4}\pi h^2\frac{dh}{dt}$
① から $2=\frac{1}{4}\pi h^2\frac{dh}{dt}$ ゆえに $\frac{dh}{dt}=\frac{8}{\pi h^2}$
よって, $h=4$ のとき $\frac{dh}{dt}=\frac{8}{\pi\cdot 4^2}=\frac{1}{2\pi}$ (cm/s)
別解 $V=2t$ と $V=\frac{1}{12}\pi h^3$ から $t=\frac{1}{24}\pi h^3$
両辺を t で微分して $1=\frac{1}{8}\pi h^2\frac{dh}{dt}$ ゆえに $\frac{dh}{dt}=\frac{8}{\pi h^2}$
よって, $h=4$ のとき $\frac{dh}{dt}=\frac{1}{2\pi}$ (cm/s)

(2) t 秒後の水面の面積を S cm² とすると $S=\pi r^2$
 $r=\frac{h}{2}$ を代入して $S=\frac{1}{4}\pi h^2$
両辺を t で微分して $\frac{dS}{dt}=\frac{1}{2}\pi h\frac{dh}{dt}$
 $h=4$ のときの水面の面積の増加する割合は, (1) の結果から
 $\frac{dS}{dt}=\frac{1}{2}\pi\cdot 4\cdot\frac{1}{2\pi}=1$ (cm²/s)



- 5
- 表面積が 4π cm²/s の一定の割合で増加している球がある。半径が 10 cm になる瞬間に
おいて, 以下のものを求めよ。
(1) 半径の増加する速度 (2) 体積の増加する速度

解答 (1) $\frac{1}{20}$ cm/s (2) 20π cm³/s

解説

t 秒後の表面積を S cm² とすると $\frac{dS}{dt}=4\pi$ (cm²/s) …… ①

(1) t 秒後の球の半径を r cm とすると $S=4\pi r^2$
両辺を t で微分して $\frac{dS}{dt}=8\pi r\frac{dr}{dt}$
ゆえに $\frac{dr}{dt}=\frac{dS}{dt}\cdot\frac{1}{8\pi r}$ ① から $\frac{dr}{dt}=4\pi\cdot\frac{1}{8\pi r}=\frac{1}{2r}$
求める速度は, $r=10$ を代入して $\frac{1}{20}$ cm/s

(2) t 秒後の球の体積を V cm³ とすると $V=\frac{4}{3}\pi r^3$

$$\text{両辺を } t \text{ で微分して} \quad \frac{dV}{dt} = 4\pi r^2 \frac{dr}{dt}$$

$$r=10 \text{ のときの半径の増加する速度は, (1) より } \frac{dr}{dt} = \frac{1}{20} \text{ であるから}$$

$$\frac{dV}{dt} = 4\pi \cdot 10^2 \cdot \frac{1}{20} = 20\pi$$

$$\text{よって, 求める速度は} \quad 20\pi \text{ cm}^3/\text{s}$$

〔6〕 (1) $|x|$ が十分小さいとき, 次の関数の 1 次の近似式, 2 次の近似式を作れ。

$$(ア) \quad f(x) = \log(1+x) \qquad (イ) \quad f(x) = \sqrt{1+\sin x}$$

(2) 1 次の近似式を用いて, 次の数の近似値を求めよ。ただし, $\pi = 3.14$, $\sqrt{3} = 1.73$ として小数第 2 位まで求めよ。

$$(ア) \quad \cos 61^\circ \qquad (イ) \quad \sqrt[3]{340} \qquad (ウ) \quad \sqrt{1+\pi}$$

〔解答〕 (1) 1 次の近似式, 2 次の近似式の順に

$$(ア) \quad x, x - \frac{1}{2}x^2 \qquad (イ) \quad 1 + \frac{1}{2}x, 1 + \frac{1}{2}x - \frac{1}{8}x^2$$

$$(2) (ア) \quad 0.48 \qquad (イ) \quad 6.98 \qquad (ウ) \quad 2.04$$

〔解説〕

$$(1) (ア) \quad f'(x) = \frac{1}{1+x}, \quad f''(x) = -\frac{1}{(1+x)^2}$$

$$\text{よって} \quad f(0) = 0, \quad f'(0) = 1, \quad f''(0) = -1$$

$$|x| \text{ が十分小さいとき} \quad 1 \text{ 次の近似式は} \quad f(x) \approx x$$

$$2 \text{ 次の近似式は} \quad f(x) \approx x - \frac{1}{2}x^2$$

$$(イ) \quad f'(x) = \frac{1}{2}(1+\sin x)^{-\frac{1}{2}} \cdot (1+\sin x)' = \frac{\cos x}{2\sqrt{1+\sin x}}$$

$$\begin{aligned} f''(x) &= \frac{1}{2} \cdot \frac{-\sin x \sqrt{1+\sin x} - \cos x \cdot \frac{\cos x}{2\sqrt{1+\sin x}}}{1+\sin x} \\ &= -\frac{1}{4} \cdot \frac{2\sin x + 2\sin^2 x + \cos^2 x}{(1+\sin x)^{\frac{3}{2}}} = -\frac{\sin^2 x + 2\sin x + 1}{4(1+\sin x)^{\frac{3}{2}}} \end{aligned}$$

$$\text{よって} \quad f(0) = 1, \quad f'(0) = \frac{1}{2}, \quad f''(0) = -\frac{1}{4}$$

$$|x| \text{ が十分小さいとき} \quad 1 \text{ 次の近似式は} \quad f(x) \approx 1 + \frac{1}{2}x$$

$$2 \text{ 次の近似式は} \quad f(x) \approx 1 + \frac{1}{2}x - \frac{1}{8}x^2$$

$$(2) (ア) \quad \cos 61^\circ = \cos(60^\circ + 1^\circ) = \cos\left(\frac{\pi}{3} + \frac{\pi}{180}\right)$$

$$(\cos x)' = -\sin x \text{ であるから, } |h| \text{ が十分小さいとき}$$

$$\cos(a+h) \approx \cos a - h \sin a$$

$$\text{よって} \quad \cos\left(\frac{\pi}{3} + \frac{\pi}{180}\right) \approx \cos \frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{180} \sin \frac{\pi}{3}$$

$$= \frac{1}{2} - \frac{\pi}{180} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \approx \frac{180 - 3.14 \times 1.73}{360}$$

$$= 0.4849 \cdots \approx 0.48$$

$$(イ) \quad \sqrt[3]{340} = \sqrt[3]{343 - 3} = \sqrt[3]{7^3 \left(1 - \frac{3}{7^3}\right)} = 7 \cdot \sqrt[3]{1 - \frac{3}{7^3}}$$

$$f(x) = \sqrt[3]{1+x} \text{ とすると}$$

$$f'(x) = \left\{ (1+x)^{\frac{1}{3}} \right\}' = \frac{1}{3} (1+x)^{-\frac{2}{3}} = \frac{1}{3 \cdot \sqrt[3]{(1+x)^2}}$$

$$\text{ゆえに, } |x| \text{ が十分小さいとき} \quad f(x) \approx 1 + \frac{1}{3}x$$

$$\text{よって} \quad \sqrt[3]{340} \approx 7 \left(1 - \frac{1}{3} \cdot \frac{3}{7^3} \right) \approx 7 - \frac{1}{49} = \frac{342}{49}$$

$$= 6.979 \cdots \approx 6.98$$

$$(ウ) \quad \pi = 3.14 \text{ から, } 1 + \pi = 4 + x \text{ とする。}$$

$$\frac{x}{4} \text{ は十分小さいから}$$

$$\sqrt{4+x} = 2 \sqrt{1 + \frac{x}{4}} \approx 2 \left(1 + \frac{1}{2} \cdot \frac{x}{4} \right) = 2 + \frac{0.14}{4} = 2.035 \approx 2.04$$

〔7〕 (1) 球の体積 V が 1 % 増加するとき, 球の半径 r と球の表面積 S は, それぞれ約何 % 増加するか。

(2) $AD \parallel BC$ の等脚台形 ABCD において, $AB = 2 \text{ cm}$, $BC = 4 \text{ cm}$, $\angle B = 60^\circ$ とする。 $\angle B$ が 1° だけ増えたとき, 台形 ABCD の面積 S は, ほぼどれだけ増えるか。ただし, $\pi = 3.14$ とする。

〔解答〕 (1) 半径は約 $\frac{1}{3}$ %, 表面積は約 $\frac{2}{3}$ % 増加する (2) 約 0.10 cm^2 増える

〔解説〕

$$(1) \quad V = \frac{4}{3}\pi r^3, \quad S = 4\pi r^2 \text{ から} \quad \frac{dV}{dr} = 4\pi r^2, \quad \frac{dS}{dr} = 8\pi r$$

$$\text{ゆえに} \quad \frac{dV}{V} \approx 4\pi r^2 \frac{dr}{V}, \quad \frac{dS}{S} \approx 8\pi r \frac{dr}{S}$$

$$\text{よって} \quad \frac{dV}{V} \approx 3 \frac{dr}{r}, \quad \frac{dS}{S} \approx 2 \frac{dr}{r}$$

$$\text{球の体積が 1 \% 増加するとき, } \frac{dV}{V} = \frac{1}{100} \text{ であるから}$$

$$\frac{dr}{r} \approx \frac{1}{300}, \quad \frac{dS}{S} \approx \frac{2}{300}$$

$$\text{ゆえに, 球の半径は約 } \frac{1}{3} \% \text{ 増加, 表面積は約 } \frac{2}{3} \% \text{ 増加する。}$$

$$(2) \quad \angle B = x \text{ (ラジアン) とすると} \quad x = 60^\circ = \frac{\pi}{3}, \quad \Delta x = 1^\circ = \frac{\pi}{180}$$

$$\text{点 A から辺 BC に下ろした垂線の足を H とすると, } BH = 2\cos x \text{ であるから}$$

$$AD = BC - 2BH = 4 - 4\cos x$$

$$\text{台形 ABCD の面積を } S \text{ とすると}$$

$$S = \frac{1}{2}(AD + BC) \cdot AH = \frac{1}{2}[(4 - 4\cos x) + 4] \cdot 2\sin x = 4(2 - \cos x)\sin x$$

$$= 8\sin x - 4\sin x \cos x = 8\sin x - 2\sin 2x$$

$$\text{ゆえに} \quad S' = 8\cos x - 2\cos 2x \cdot (2x)' = 4(2\cos x - \cos 2x)$$

x の増分 Δx に対する S の増分を ΔS とすると, $|\Delta x|$ が十分小さいとき, 次の式が成り立つ。

$$\Delta S \approx S' \Delta x = 4(2\cos x - \cos 2x) \Delta x$$

$$x = \frac{\pi}{3} \text{ のとき} \quad S' = 4 \left\{ 2 \cdot \frac{1}{2} - \left(-\frac{1}{2} \right) \right\} = 6$$

$$\text{よって} \quad \Delta S \approx 6 \cdot \frac{\pi}{180} = \frac{\pi}{30} \approx \frac{3.14}{30} = 0.104 \cdots \approx 0.10$$

したがって, 約 0.10 cm^2 増える。

$$〔8〕 \text{ 座標平面上の動点 P の時刻 } t \text{ における座標 } (x, y) \text{ が } \begin{cases} x = \sin t \\ y = \frac{1}{2} \cos 2t \end{cases} \text{ で表されるとき, 点}$$

P の速度の大きさの最大値を求めよ。

$$〔解答〕 \quad \frac{5}{4}$$

〔解説〕

$$\frac{dx}{dt} = \cos t, \quad \frac{dy}{dt} = -\sin 2t \text{ であるから, 時刻 } t \text{ における速度ベクトルを } \vec{v} \text{ とすると}$$

$$|\vec{v}|^2 = \left(\frac{dx}{dt} \right)^2 + \left(\frac{dy}{dt} \right)^2 = \cos^2 t + \sin^2 2t$$

$$= \cos^2 t + 4\sin^2 t \cos^2 t = \cos^2 t (1 + 4\sin^2 t)$$

$$\text{ここで, } \sin^2 t = X \text{ とおくと} \quad 0 \leq X \leq 1 \quad \cdots \cdots ①$$

$$|\vec{v}|^2 = (1-X)(1+4X) = -4X^2 + 3X + 1 = -4 \left(X - \frac{3}{8} \right)^2 + \frac{25}{16}$$

$$\text{ゆえに, ① の範囲において, } |\vec{v}|^2 \text{ は } X = \frac{3}{8} \text{ のとき最大値 } \frac{25}{16} \text{ をとる。}$$

$$|\vec{v}| \geq 0 \text{ であるから, } |\vec{v}|^2 \text{ が最大のとき } |\vec{v}| \text{ も最大となる。}$$

$$\text{したがって, 求める最大値は} \quad \sqrt{\frac{25}{16}} = \frac{5}{4}$$